

教職員養成・育成だより 第45号



これまでの「大学連携だより」を、第41号から「教職員養成・育成だより」として名称変更し、大学連携の情報に加え、教職員の研修等の様子についてもお伝えしています。

令和3年1月7日発行

横浜市教育委員会事務局 教職員育成課

教育実習の実施の御協力ありがとうございました

今年度の教育実習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組の中で実施するという異例の事態となりました。各学校にはそのような状況の中、スケジュールの調整や内容の工夫を行いながら実施の御協力をいただきました。実習校の先生方におかれましては、御多用の中、後進の養成に御尽力いただき、心より感謝申し上げます。

何名かの校長先生とお話をしたところ、「実施するのは大変だけど、教育実習を行わずに本市に着任したら、その人も、赴任先の学校も困りますよね。」とおっしゃっていました。このような大変な時期であっても、本市には、「みんなで横浜市全体の将来のことを考えていこう」という強い結びつきがあるのだと感じた瞬間でした。



(右面に続く)

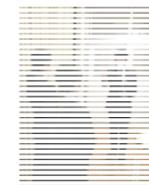
★★★アイ・カレッジ コーナー★★★ ～教職の素養講座～

アイ・カレッジでは、自己研鑽に努め、向上心をもって学び続ける姿勢を大切にしています。そのため、卒塾時に目指す姿に向かって、何を、どのように積み重ねていったらよいのか、塾生は自分の課題をしっかりと把握し、その課題をクリアしていくための具体的なアクションプランを作成し、着実に学びを積み重ねています。11月29日と12月6日には、担当する教官が塾生一人ひとりと面談し、アクションプランに基づいた取組についてアドバイスをしたり、それぞれの思いや悩みを受け止めたりするなど、これからの学びを更に充実させるための支援を行いました。12月13日には、各自が作成してきた発表シートを使って、前期の取組を振り返り、成果と課題についてプレゼンテーションを行いました。教職の土台となる「素養」は、一朝一夕には身に付けられるものではありませんが、今後、講座での学びの質を高め、教師を目指す「わたし」自身を磨き、高めていけるよう指導、支援をしていきます。



寺尾小学校での教育実習の様子を拝見！

寺尾小学校では今年の5月の休校期間から、新たな保護者へのコミュニケーション手段としてメール連絡網サービスを使い、毎日のように学校の様子や休校期間のメッセージなどを配信しているそうです。教育実習の様子も校長先生自らが発信しています。その一部を紹介します。



北村 高則 校長

校長室

実習前半

教育実習生が、様々な学年の師範授業を参観しています。教育実習の目的は「小学校教育の実際にふれ、教職への自覚を高める」です。

実習生の指導を通して、学校や教職員自身が成長する機会と捉え「人を育てる、自分も育つ」教育実習を行っています。「やってみせ 言って聞かせて させてみて ほめてやらねば 人は動かじ」



校長室

実習後半

教育実習生の研究授業の様子です。少し緊張しながらも、教える内容を考え進めることができました。また、引き続き様々なクラスの授業を参観して、良い所を見て学んでいます。

これからも、授業について教材を研究し、子どもたちにとって分かりやすい授業を目指してほしいと思います。そして、すべての教職員が「教えるプロであると同時に、自ら学ぶことのプロ」として、学び続けて欲しいと願っています。



★「教職員養成・育成だより」はYCAN教職員育成課ページから、PDF版をダウンロードできます。各校におかれましては、教職員の皆さんへの配付や校内での掲示等、情報共有への御協力をお願いいたします。